

第2学年 国語科学習指導案

日時 令和4年2月9日(水)5校時

対象 第2学年1組 26名

2組 26名

授業者 1組 芦谷 豊子

2組 鳴海 大祐

研究主題

主体的に学び合い、豊かに表現する児童の育成
～適切な言語活動を通じた授業改善を目指して～

低学年分科会の目指す児童像

「言葉に着目し、自分の思いや考えをもち、伝え合おうとする児童」

1 単元名 『オリジナルおにごっこ』を紹介しよう

教材名 「おにごっこ」(光村図書 第2学年下巻) 筆者 森下 はるみ

「本でのしらべ方」

2 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

・ 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。

【知-(2)ア】

・ 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。

【思C-(1)ウ】

・ 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。

【思C-(1)オ】

・ 文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。

【思C-(1)カ】

・ 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとしている。

【主】

(2) 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 【知-(2)ア】	① 文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 【思C-(1)ウ】 ② 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 【思C-(1)オ】 ③ 文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。 【思C-(1)カ】	① 進んで文章の重要な語や文を考えて選び出し、学習の見通しをもちながら、「オリジナルおにごっこ」を考え紹介している。

3 本単元について

(1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領（平成29年告示）国語編 第1学年及び第2学年に記載されている次のことを扱っている。【学習指導要領から抜粋】

[知識及び技能]

(2) ア 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。

[思考力、判断力、表現力等] C 読むこと

- (1) ウ 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。
オ 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。
カ 文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。

本単元で児童に身に付けさせたい力は、以下の2つである。

- ① 文章の中の重要な語や文を考えて選び出す力。
- ② 文章を読んで感じたことや分かったことを共有する力。

上記を身に付けるために、本単元は、「『オリジナルおにごっこ』を紹介しよう」という学習課題を立てた。「何について書かれた文章か」「おに」「にげる人」のどちらの立場でより楽しめるようにルールが設定されているかを読み取る。そのために、「主語」「主体が変わる接続詞」等のどの言葉に着目するかを明確に示していく。言葉をヒントに、文章構成もまとめていく。正確に読み取ったことをもとに、同時期に行う体育の授業で実際におにごっこをして確かめていく。文章の中にはない、実際に経験して知っているおにごっこや、保護者や NT、知り合い等にインタビューして知ったおにごっこなどをもちより、自分たちのオリジナルルールでのおにごっこをグループで話し合い、実際に動画を撮るなどして紹介し合う活動につなげていきたい。外国のおにごっこも含めて考えることにより、国際理解にもつながっていくと考える。

「たんぼぼのちえ」では、「ときを表す言葉」について学んだ。「どうぶつ園のじゅうい」では、「時間を表す言葉」「読んで分かったことや自分の知っていることをくらべること」について学ぶ。「馬のおもちゃの作り方」では、「文章のまとめり」「まず、つぎになどのつなぎ言葉」「絵や写真との対応」について学ぶ。このことを受けて、本単元では、順序を表す言葉やつなぎ言葉、何について説明するのかを明確にすることを学び、「オリジナルおにごっこ」を説明する活動につなげていきたい。より豊かな伝え合いにするために、本単元の学習に入るまでに、日常活動での言葉遊び、指定の表現を用いた日記、言葉の宝箱を増やす活動、ICT 機器を活用した文章の読み取りなどの活動に継続的に取り組み、言葉への着目の仕方を身に付けたり、ICT 機器の扱いに慣れたりできるようにする。

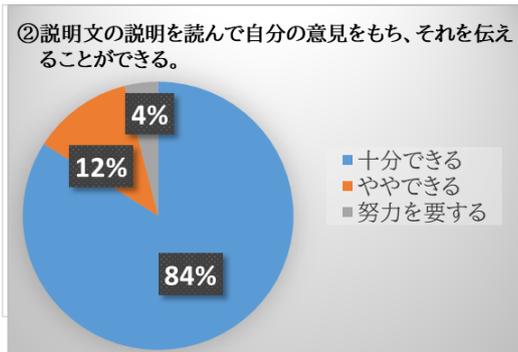
(2) 児童観

① 説明文を読んで大切なところを読み取ることができる。



本単元で身に付けさせたい力である「文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと」は、左記の結果から分かるように9割以上の児童が身に付けていると言える。(対象者：49名) これは、5月の「たんぼぼのちえ」や9月の「どうぶつ園のじゅうい」、11月の「馬のおもちゃの作り方」の学習を通して、説明文の構成に慣れ、説明する順序の考え方やつなぎ言葉の後の言葉の指す意味を感覚的に捉える力が身に付いてきた成果である。

これから、説明文の「問い」と「答え」の構成を学習していくので、本単元では、グループ学習やワークシートを使った学習を通して、「問い」と「答え」の構成の読み取り方も身に付けさせていきたい。



「文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること」についても、9割以上の児童が身に付けていると言える。「どうぶつ園のじゅうい」の学習の中で、毎時間、学習で取り扱った部分についての感想文を書く活動を通して、「自分の読んで感じたこと」について何を書くべきかを学ぶことができた。それをグループで発表したり学級全体に発表したりすることで自分の考えを共有することへの自信につながった。また、学年間の交流もおこな

い共有することの楽しさも味わうことができたことで、自分の意見を書きたい、伝えたいという意識が育った。

児童は、自分の意見に自信が持てるとみんなと共有したいという気持ちが高まるので、これからも、文章をしっかり読み取らせて、感想を書かせ、自分の意見に自信をもたせられるように指導していきたい。

(3) 教材観

本教材は、おにごっこの遊び方とその遊びのおもしろさを4種類のおにごっこの例で説明している文章である。おにごっこは多様性のある遊びであると共に、児童の身近な遊びであり、実際の体験を通して内容をより具体的に理解することができる教材であると考え。「どんな遊び方があるのか」「どんなおもしろさがあるのか」という2つの問いに答える尾括型の文章である。既習の「初め（問い）・中（答え）・終わり（まとめ）」の分かりやすい構成の文章であるが、問いに対する各答えの「おもしろさ」は誰にとってのおもしろさなのか段落ごとに違っていることも特徴である。段落ごとに、誰のための工夫がされているのかを整理して捉えさせていきたい。また、つなぎ言葉をもとにした説明の流れと、自分が遊んだ経験とを結び付けながら正確に読み取らせていきたい。

(4) 学習材の分析

<おにごっこ>

終わり (まとめ)	中 (答え)				初め (問い)	構成
⑥	⑤	④	③	②	①	段落
筆者の願 い の ま と め 問 い か け へ の 答 え	事例2の短所 事例2の短所を 補う追加	問 い か け へ の 事 例 2	事 例 1 へ の 追 加	問 い か け へ の 事 例 1	お に ご っ こ の 特 徴 二 つ の 問 い か け	段落の役割
おにごっこには、様々な遊び方があり、おにになった人も、逃げる人も、みんなが楽しめるように工夫されてきた。 だれもが「楽しかった。」と思えるようなおにごっこができるという。	事例2では、どきどきして楽しいけれど、おにごっこがすぐに終わってしまう。 ①おにになった人は、みんな手をつないで追いかける。 ②おに↓力を合わせて追いかける楽しさ。 逃げる人↓おにが増えるにつれつかまりにくくなる。 →おにごっこがすぐに終わらず、長く遊び続けられる。	①おにが交代せずに、捕まった人が、みんなおにになる。 ②おに↓おにが増えるので逃げる人を捕まえやすい。 逃げる人↓逃げる人のどきどきが増え、おにごっこがもつと面白くなる。	①逃げる人だけが入れる所を作ったり、捕まらない時を決めたりする。 ②逃げる人が簡単には捕まらない。	①逃げてはいけない所を決める。 ②おにには逃げる人を捕まえやすくなる。	おにごっこは、どうぐがなくても、みんなのできるあそび。 問いかけ ①どんなあそびがあるのか。 ②なぜそのようなあそび方をするのか。	段落の内容
	おに に げ る 人	おに に げ る 人	おに に げ る 人	おに		誰のために工夫されたか
このように	ところが	ほかに	また	あそび方の一つに	どんなうがあるのでしょうか。 なぜなのでしょう。	着目させたい言葉、文

4 研究主題に迫るための手立て

○ 実生活につながる単元課題の設定

本単元では、『オリジナルおにごっこ』をしようかしよう」という単元課題を設定した。この学習では、おにごっこには様々な種類があり、その多くが、おにも逃げる人も互いがより楽しめるようにするために変化してきていることを学ぶ。既に知っているルールや調べて知ったルール、さらにはあるとより楽しめるルールなどを盛り込んだ「オリジナルのおにごっこ」を話し合っ
て決め、実際に体育でやってみるという活動につなげていく。文章を正確に読み取った上で、「どんな遊び方か」「どんな面白さがあるか」を友達に分かるように表現しなくてはならないという必要感をもって、学習に取り組めると考えた。

○ ICT 機器の活用

本単元の指導の重点は、「だいじなことばを読み取ること」と「自分たちで考えた遊びを表現し合うこと」である。そのため、本単元の表現する手段として、タブレット端末を活用する。

本文から大事な言葉を探し出したり、文章構成を整理したりする際にデジタル教科書やプロジェクターを活用する。

「オリジナルおにごっこ」の仕方について紹介するために、タブレット端末で動画を撮影し、紹介する活動を通して、実際の体育でのおにごっこにつなげられるようにする。

○ 振り返りの充実

毎時間、学習目標に基づく活動ができたかどうか、振り返る時間を設ける。振り返りの視点として「分かったこと」と「次の時間にやりたいこと」の2つを挙げ、自分の学習について振り返る機会を設ける。児童自身が学習を意欲的に進められるようにするため、児童の学習状況について、指導・助言を繰り返す、学習の面白さを味わわせたい。

○ 自分の思いや考えをもつための工夫

体育科の時間におにごっこを行わせることで、自分の思いや考えをもてる場を設定する。

○ 対話活動の充実

(1) 「4つの対話」による意図的な対話活動

「4つの対話（「作品との対話」「教師との対話」「自分自身との対話」「友達との対話）」を意図的に単元の中に展開していく際に、対話の目的や対話活動における視点を教師側から提示したり教師と児童で考えたりする。目的や視点を明確にすることで、振り返ったときに、児童自身が対話活動後の成果について分かるようにしていきたい。

(2) 学習形態の工夫

教師が意図的にグループ編成や学習形態を設定し、学習を行っていく。グループ編成においては、習熟度を考慮し、学び合いができるように編成していく。また、学習形態では、ペア、小グループ、学級全体等が考えられる。また、考えの共有において、ICT 機器を有効活用していく。

○ 語彙を豊かにするための工夫

日常活動において、より多くの語彙を獲得するために、短時間学習の時間を活用し、「しりとり」や「言葉相撲」に継続的に取り組んでいる。「ことばのたからばこ」も教室掲示し、新たに出てきた語彙を増やして掲示できるようにしている。家庭学習としては、学習した教材の中に出てきた表現を使って日記を書くという課題を日常的に出すことにより、授業で獲得した表現方法や語彙の定着を図りたい。

5 単元計画と評価計画（全12時間）

次	時	目標	学習内容	◆評価規準【評価方法】 ・留意点☆支援
短時間学習			説明的文章の既習事項を確認する。	
1	1	学習課題を把握し、紹介文について知り、学習計画を立てることができる。	1 「おにごっこ」の範読を聞く。 2 初読の感想を書く。 3 感想の交流をする。 4 単元の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">オリジナルおにごっこをしようかいしよう。</div> 5 学習計画を立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">「おにごっこ」の学習けいかくを立てよう。</div> 6 本時の学習の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の学習に意欲をもてるように、経験したことのあるおにごっこの楽しさを想起させてから、範読を聞かせる。 ・初読の感想の視点： <ol style="list-style-type: none"> ① 文章を読んで考えたこと ② 疑問点 ③ 書き手の述べ方の工夫 ☆計画の案を出すのが難しい児童には、キーワードを提示する。 ・紹介文を書くことを知り、そのための学習計画を考えさせる。
2	2	「おにごっこ」の文章の大体をとらえることができる。	1 前時の振り返りを共有する。 2 本時の目標を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">文しょうの大まかな内ようをさぐろう。</div> 3 形式段落を確認する。 4 問いと答えを見付ける。 タブレット端末（デジタル教科書）を使い、各自で色分けをする。 5 全体で共有する。 6 文章全体を「問い」「答え」「まとめ」で整理する。 7 本時の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・おにごっこの種類が4つあることをおさえる。 ☆実態に応じて、デジタル教科書の段落分けを使用する。 ・次時から、全文を通して、遊び方と遊び方のおもしろさの2つの問いそれぞれに対する答えを色分けさせていく。

2	3	「あそび方の一つに」に着目して、おにごっこの遊び方や遊び方の工夫を見付けることができる。	<ol style="list-style-type: none"> 1 前時の振り返りを共有する。 2 本時の目標を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">おにごっこ(あそび方1)のおもしろさを見つけよう。</div> <ol style="list-style-type: none"> 3 第2段落で例示された「にげてはいけないところをきめるものがある」遊び方を読み取る。 4 第2段落で例示された遊び方の工夫をおにの視点から小グループで整理する。 5 全体で共有する。 6 本時の振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問いに色を対応させていく。 ・小グループで話し合う際の、話型を示す。 ・文頭の「あそび方の一つに」に着目させることで、事例が始まることに気付かせる。 ・共通認識を図るために、おにごっこ遊び方1の名前を付ける。 <p>◆イ-① 文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 【ワークシートの記述、発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ つなぎ言葉「また」「ほかに」に着目させることで、事例が加わることに気付かせる。
	4	つなぎ言葉「また」「ほかに」に着目して、おにごっこの遊び方や遊び方の工夫を見付けることができる。	<ol style="list-style-type: none"> 1 前時の振り返りを共有する。 2 本時の目標を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">丸おに(おにごっこのあそび方2)とふやしおに(おにごっこのあそび方3)のおもしろさを見つけよう。</div> <ol style="list-style-type: none"> 3 第3段落で例示された「にげる人だけが入れるところを作ったり、つかまらないときをきめたりする」遊び方と、第4段落で例示された「おにが交代せずに、つかまった人が、みんなおにになっておいかける」遊び方を個人で読み取る。 4 第3段落で例示された遊び方の工夫を逃げる人の視点から、第4段落で例示された遊び方の工夫をおにと逃げる人の視点に分けて小グループで整理する。 5 全体で共有する。 6 本時の振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・共通認識を図るために、おにごっこの遊び方2と遊び方3の名前を付ける。
	5 本時 (2組)	つなぎ言葉「ところが」に着目して、おにごっこの遊び方や遊び方の工夫を見付けることができる。	<ol style="list-style-type: none"> 1 前時の振り返りを共有する。 2 本時の目標を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">手つなぎおに(おにごっこのあそび方3につけたあそび方)のおもしろさを見つけよう。</div> <ol style="list-style-type: none"> 3 第5段落で例示された「おにになった人は、みんな手をつないでおいかける」遊び方を確認する。 4 第5段落で例示された遊び方の工夫をおにと逃げる人の視点に分けて小グループで話し合う。 5 全体で共有する。 6 本時の振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・つなぎ言葉「ところが」に着目させることで、先の事例と逆の捉え方に気付かせる。 ・おにごっこの遊び方3につけたあそび方の名前を付ける。 <p>☆思いつかない児童は、グループの児童の意見を参考させる。 ☆実態に応じたワークシートを使用する。</p>
体育科の授業		<ul style="list-style-type: none"> ・ 例示されたおにごっこの、工夫をしていない場合と工夫をした場合とを行う。 ・ それぞれの感想を交流する。 	☆ただ楽しむのではなく、工夫の有無での比較ができるようにさせる。	

6	筆者の願いを読み取ることができる。	1 前時の振り返りを共有する。 2 本時の目標を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「まとめ」に書かれていることを読みとろう。</div> 3 「まとめ」の文に書かれていることを個人で読み取る。 ①問いの文に対する答えのまとめ ②筆者の願い 4 全体で共有する。 5 本時の振り返りをする。	◆イ-① 文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 【ワークシートの記述】
7	文章を読み取り、感じたことや分かったことを表現することができる。	1 前時の振り返りを共有する。 2 本時の目標を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">かんじたことや分かったことを文にしよう。</div> 4 感じたことや分かったことを文にする。 5 書いたことを友達と共有する。 6 本時の振り返りをする。	・体育の授業での感想を振り返りながら、実際に行った体験を踏まえた感想を書けるようにする。 ◆イ-② 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 【ワークシートの記述】
8	伝えたいことを紹介するために大事な言葉や、説明のしかたについて考えることができる。	1 前時の振り返りを共有する。 2 本時の目標を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">分かりやすくしようかいうる方ほうについて考えよう。</div> 3 「本での調べ方」を読む。 4 紹介の仕方を確かめる。 5 紹介するために必要な情報を話し合う。 6 本時の学習の振り返りをする。	◆イ-① 文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 【ワークシートの記述、発言】 ・「おに」と「にげる人」の動きを含めた遊び方と遊びの工夫が必要であることをおさえる。
家庭学習		1 「おにごっこ」「本でのしらべ方」を音読する。 2 本文にないおにごっこで、知っているものや本で調べたもの、家の人から教えてもらったものをメモしておく。	・学校司書と連携を図り、児童が目的をもって本を探したり読んだりできるようにする。 ・経験と照らし合わせ、工夫を考えられるようにする。
休み時間		調べてきたり教えてもらったりしたおにごっこを実際に行う。	

3	9 本時 (1組)	自分の好きなおにごっこ遊び方や遊び方の工夫を紹介することができる。	1 前時の振り返りを共有する。 2 本時の目標を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">自分の好きなおにごっこを、しょうかいしよう。</div> 3 2つの視点で好きなおにごっこをまとめる。 ①遊び方 ②遊び方のおもしろさ 4 「スクールタクト」で交流する。 5 本時の振り返りをする。	◆ア-① 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 ◆イ-③ 文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。 【ワークシートの記述、発言】 ・オリジナルを考えるために必要な情報や紹介の仕方を考えられるようにする。 ☆既習したワークシートを活用し、おにと逃げる人の視点から書くことを提示する。
体育科の授業		第9時で紹介されたおにごっこの中からいくつかを行い、遊び方と遊び方の工夫について確かめる。	・おもしろさをより感じられる遊び方を考えられるようにする。	
	10	学習したことをもとに、オリジナルのおにごっこを考えることができる。	1 前時の振り返りを共有する。 2 本時の目標を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">『オリジナルおにごっこ』を考えよう。</div> 3 オリジナルのおにごっこを小グループで話し合い、遊び方や遊び方の工夫を考える。 4 本時の振り返りをする。	◆イ-② 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 【ワークシートの記述、発表】
	11	学習したことをもとに、オリジナルのおにごっこを紹介する原稿を作ることができる。	1 前時の振り返りを共有する。 2 本時の目標を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">『オリジナルおにごっこ』を作ろう。</div> 3 オリジナルのおにごっこを小グループで話し合い、発表原稿を作る。 4 発表の練習をする。 5 本時の振り返りをする。	
短時間学習		動画の撮影		

12	<p>学習したことをもとに、オリジナルのおにごっこを紹介することができる。</p>	<p>1 前時の振り返りを共有する。 2 本時の目標を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">『オリジナルおにごっこ』をしようかいしよう。</div> <p>3 発表会を開き、感想を伝え合う。 4 本時の振り返りをする。</p>	<p>◆ウ-① 進んで文章の重要な語や文を考えて選び出し、学習の見通しをもちながら、「オリジナルおにごっこ」を考え紹介している。</p> <p>◆イ-③ 文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。 【ワークシートの記述、発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊びの工夫のよいところや自分の考えた遊び方と比較させ、発表を聞くようにさせる。 ・身に付けた力をこれからの学習や他教科につなげていけるよう、声かけをする。
<p>体育科の授業</p>		<p>「オリジナルおにごっこ」を行う。</p>	

6 本時の展開

【1組(9/12)】

(1) ねらい

自分の好きなおにごっこ遊び方や遊び方の工夫を紹介することができる。

(2) 本時の展開

時間	学習内容 T 教師の発問 C 予想される児童の反応	・指導事項 ◎豊かな表現を 見取る視点	◆評価規準 ☆支援 ・指導上の留意点
導入	<p>1 前時の振り返りを共有する。</p> <p>2 本時の目標を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 自分の好きなおにごっこを、しょうかいしよう。 </div>		
展開	<p>3 2つの視点で好きなおにごっこをまとめ。</p> <p>① 遊び方</p> <p>② 遊び方のおもしろさ</p> <p>T たくさんのおにごっこをしました。今日は、自分の好きなおにごっこを紹介しましょう。</p> <p>T どんなことが紹介すると、分かりやすいですか。</p> <p>C 遊び方</p> <p>C おもしろいところ</p> <p>C おにの動き方</p> <p>C 逃げる人の動き方</p> <p>C ルール</p> <p>T そうですね。では、①遊び方②遊び方のおもしろさの2つのことをスクールタクトに書きましょう。</p> <p>4 スクールタクトで交流する。</p> <p>T 自分の紹介と同じところや違うところに気を付けながら、読みましょう。</p> <p>C こんなにたくさんおにごっこがあることにびっくりした。</p> <p>C 同じおにごっこでも、おもしろいと思うところが違う人もいた。</p> <p>C やっぱり自分のが一番おもしろいと思った。</p> <p>T 紹介を読んで、考えたことや気付いたことを発表しましょう。</p>	◎交流を通して自分の考えをもう一度見直しているか。	<p>◆ア-① 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>◆イ-③ 文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。</p> <p>【「スクールタクト」の記述、発言】</p> <p>・オリジナルを考えるために必要な情報や紹介の仕方考えられるようにする。</p> <p>☆おにと逃げる人の視点それぞれから書くと分かりやすいことを提示する。</p>
まとめ	5 本時の振り返りをする。		・視点 「考えたこと」 「分かったこと」

(3) 授業観察の視点

- ・ 視点を明確化することで、紹介しやすくなったか。
- ・ スクールタクトによる交流は、お互いの考えを共有するのに有効な手段だったか。

(4) 板書計画

共有用スクリーン

おにごっこ

森下 はるみ

自分のすきなおにごっこを、
しようかいしよう。

○スクールタクトの書き方

「おにごっこの名前」

①あそび方

- ・おには、く。
- ・にげる人は、く。

②おもしろさ

○しようかいして

- ・おにごっこがたくさんあった。
- ・同じおにごっこでも、おもしろいとおもうところがちがう。
- ・自分のが一番。

○ふりかえり

「考えたこと」や「気づいたこと」

【2組(5/12)】

(1) ねらい

手つなぎおにがどんな工夫を作り、どんなおもしろさが加わったのかを考えることができる。

(2) 本時の展開

時間	学習内容	・指導事項 ◎豊かな表現を見取る視点	◆評価規準 ☆支援 ・指導上の留意点
導入	1 前時の振り返りを共有する。 2 本時の目標を確認する。		
	手つなぎおに(おにごっこのおそび方3につけたしたあそび方)のおもしろさを見つけよう。		
展開	3 第5段落で例示された「おにになった人は、みんな手をつないでおいかける」遊び方を確認する。 T 「ところが」という言葉はどんなときに使うつなぎ言葉だったか考えてみましょう。 T 「ところが」に対応したつなぎ言葉を探しましょう。 4 第5段落で例示された遊び方の工夫をおにと逃げる人の視点に分けて小グループで話し合う。 T グループでおにと逃げる人のためにどんな工夫がされたのかを話し合みましょう。 5 全体で共有する。 T グループで話し合った手つなぎおにのおもしろさを発表しましょう。	◎根拠を基に自分の考えを構築できているか ◎自分の考えと理由を共有できているか。	◆イ-① 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。【発言・ワークシート】 ☆読み取りが十分でない児童には、ヒントカードを個別に渡す。 ☆概ね読み取ることができる児童には、個別に渡したヒントカードの内容を全体に提示する。 ☆読み取りが十分できる児童には、オリジナルおにごっこのアイデアをためるワークシートにアイデアを書かせておきオリジナルおにごっこ作成の準備を促す。
まとめ	6 本時の振り返りをする。		・振り返りでは、以下の視点を示す。 「考えたこと」「分かったこと」

(3) 授業観察の視点

- ・ ヒントカードが自分の考えと理由をまとめるのに役立てられていたか。

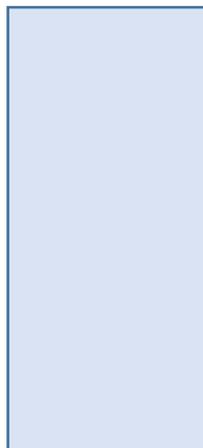
(4) 板書計画

おにごっこ

森下 はるみ

めあて

手つなぎおに（おにごっここのあそび方3につけたしたあそび方）のおもしろさを見つけよう。



○振り返り

- ① 今日学んだこと
- ② 次回に向けてがんばること

共有用スクリーン

共有する内容

- ・ 前時の振り返り
- ・
- ・